

## 第1回 県央地域の救急医療の在り方に関する検討会概要

- 1 日 時 平成19年4月23日（月）午後7時15分から午後8時10分まで
- 2 会 場 三条市役所 3階第1会議室
- 3 協議題

### 議題

- (1) 検討会規約について
- (2) 会長・副会長の選出
- (3) 県央地域の救急医療の現状について（資料No.1～5）
- (4) 検討会の検討課題について
- (5) 検討会スケジュールについて

### 4 出席状況

- (1) 出席委員  
草野委員、桑原委員、五十嵐委員、小池委員、田崎委員、小林委員、徐委員、青山委員
- (2) 関係市町村長  
三条市長 國定勇人、燕市長 小林 清、見附市長 久住時男、  
田上町長 佐藤邦義、弥彦村長（代理） 武石 進（住民福祉課長）
- (3) 三条地域振興局  
健康福祉環境部長 片桐幹雄
- (4) 医師会職員  
三条市医師会事務長（事務局）、加茂市医師会事務長  
見附市南蒲原郡医師会事務長、燕市医師会事務長
- (5) 関係行政機関職員  
三条市 総合政策部長、福祉保健部健康推進課長  
燕 市 健康福祉部長、健康福祉部健康づくり課長  
見附市 健康福祉課長  
田上町 保健福祉課長  
三条地域振興局健康福祉環境部医薬予防課医薬指導係長
- (6) 傍聴者  
報道機関 4社、一般 1名

### 5 概要

- ・開会 午後7時15分

#### 事務局

本日は、お忙しい中、「県央地域の救急医療の在り方に関する検討会」に、ご出席をいただきましてありがとうございます。

次第3の議事（2）会長・副会長の選出までの間、進行役を務めさせていた

できます。

開会にあたりまして、三条市医師会長草野恒輔がご挨拶をさせていただきます。

#### 三条市医師会草野会長

5年前に県央の4医師会の応急診療所が立ち上がった、その当時から「県央の真ん中に新しい救急診療所をつくりましょう」という建設の動きが実は医師会、県央の医師会の中でありました。市町村合併やら二次医療圏問題やらいろいろありまして、今までのびのびになっておりましたが、われわれ医師会、そして行政双方ともに救急医療の必要性が論じられるようになってまいりました。この時期を逃がすと、もう2度とこのチャンスは来ないという思いをもっておりました。皆様方のご協力をお願いし、よく検討していただいて、その上で救急診療所を立ち上げたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

#### 事務局

ご出席の皆様から、一言、自己紹介方々ご挨拶を賜りたいと存じます。

#### 三条市医師会桑原副会長

小児科を開業しております桑原と申します。

#### 加茂市医師会五十嵐会長

加茂市医師会の会長をしております五十嵐です。県央地域の皆さんのために頑張りたいと思っております。

#### 加茂市医師会小池理事

加茂市医師会の小池と申します。

#### 見附市南蒲原郡医師会田崎会長

見附市南蒲原郡医師会の田崎と申します。

救急診療所が拡大、発展するこういった会議、素晴らしい事だと思います。

#### 見附市南蒲原郡医師会小林副会長

見附市南蒲原郡医師会副会長の小林です。

#### 燕市医師会徐会長

燕市医師会会長の徐でございます。

#### 燕市医師会青山理事

燕市医師会の理事をしております青山と申します。

#### 三条市長

三条市長の國定でございます。この県央地域の救急医療の在り方に関する検討会第1回会合が立ち上がったということは、私自身にとりましても非常に感慨深いものがあるわけでございます。今この県央地域におきます救命救急の状況というのは必ずしも、合格点とはなかなか言えないような状況にあるのではないかと感じております。急患で搬送される患者の約4人に1人が、県央の外

へ搬送されているというような状況を考えますと、果たしてこれが本当に正しい姿なのかとを感じるわけでございます。

ゴールは、救命救急センターをこの県央地域に作っていくんだということをしっかり見定める必要があるわけですが、救命救急センターを設置していくためには、やはりそれなりに深い議論と、そして大変巨額の予算、そして医師や看護師の確保の問題等々、乗り越えなければいけないハードルもまだまだたくさんあると考えているところですが、私ども行政側といたしましても精一杯ご協力をさせていただく中で、一日も早く夜間診療所が拡充される形での救急診療所が設置されればありがたいと考えているところであります。

燕市長

燕市長の小林でございます。地域におけるこの医療の問題、これほどいろんな角度から真剣にご議論をいただいているところは、まずなかったのではないかと思います。医師不足、それから病院の経営という問題がございますけれども、これほど住民の命を預かる大事な医療体制。放っておくわけにはいかなかったのではないかと、痛切に感じているところであります。

見附市長

見附市の久住でございます。見附市は、長い市民の要望で市立病院を作らせていただきました。赤字でも自治体病院ということで、歯を食いしばってやっているとございます。県央の中で、いいものができれば大変いいことだろうと、出来る限りの応援団として参加させていただきます。

田上町長

田上町の町長の佐藤でございます。地域で一番問題となっているのは、救急の患者さんをどこへ搬送するのか、なかなか大変だと、30分から40分待たされることが、ざらにあるというようなことを聞いております。今回、ぜひ参加していかなければならないと思っております。

弥彦村長（代理）（住民福祉課長）

代理出席で大変申し訳なく思っております。住民福祉課長の武石でございます。

三条地域振興局健康福祉環境部長

県の三条地域振興局の健康福祉環境部長の片桐でございます。地域における救急医療問題を解決していくのは、たいへん重要なこと。よろしく願いいたします。

事務局

本日は、医師会の事務長、各市町村及び三条地域振興局から担当職員の出席をいただいております。

事務局

次第3議事（1）検討会規約について、三条市から説明をお願いします。

三条市福祉保健部健康推進課長（説明）

事務局

ただいま説明のありました検討会規約（案）につきまして、ご意見等ございましたらお願いいたします。

（意見等なし）

（異議なし）

<検討会規約（案）承認>

**\*検討会規約第7条第3項の規定に基づき、委員の過半数の出席により会議は成立。**

事務局

検討会規約第5条第1項に、各医師から選任された「委員の互選による会長及び副会長を置く」となっております。

どのように取り計らえばよろしいでしょうか。

燕市医師会徐会長

会長には三条市医師会長の草野先生、副会長には加茂市の医師会長五十嵐先生にお願いしたいと思います。

（拍手）

事務局

草野委員さんに会長を、五十嵐委員さんに副会長をお願い申し上げたいと存じます。

会 長

議事を進めさせていただきます。

次第の3（3）県央地域の救急医療の現状について、最初に三条市から救急医療の現状を説明していただき、その後、皆様からご意見をいただきたいと思ひます。

三条市福祉保健部健康推進課長（説明）

会長

ただいま説明のありました県央地域の救急医療の現状について、ご意見等をいただきたいと思ひます。

副会長

先週、日本小児科医学会があり、日本の小児医療が崩壊の危機にあるという話題が出て大きな問題となっています。個々の事情を踏まえて、県央地域の小児救急をいろいろと考えていきたいと思ひます。

青山委員

ここにデータが出てますけど、西蒲原診療所の利用率が高く、合併の関係で燕市と新潟の西蒲、旧巻が中心となって実施しています。その人たちもアクセスできるような場所を考えていただきたい。

小池委員

確認ですが、1次についての検討会でしょうか。

会長

1次です。

田崎委員

西蒲原休日診療所について、案が出ているのでしょうか。

青山委員

先行きどうなるか決まっています。新潟市医師会が主導で燕市医師会が協力する形で今年度はやっています。

田崎委員

燕の医師会の先生方は、県央の夜間診療所にもお出でになるし、巻の方にも出動要請があれば当たっておられるということですね。

加茂市はどのような方向性なのか、お聞かせいただきたい。

三条市長

加茂の市長さんが県央地域の救急医療の問題をないがしろにしているということではなく、反対に、ものすごく頑張ってもらえるわけですが、加茂の市長さんの言葉を借りれば、救命救急センター一本で自分は設置に向けて頑張りたいということです。

この検討会は、今の夜間救急診療所を拡充する形での救急診療所の取扱いをメインテーマとして、取り扱っていきましょうということで開催させていただきました。

青山委員

二次の病院の問題は進んでいるのでしょうか。

会長

三条市は現在も病院が一次救急をやっています。一次、二次両方やっています。

二次救急病院として、輪番制とか、深夜帯の患者さんの問題とかそういう話し合いができれば良いと思います。

青山委員

一次を充実させるという中に、二次を疲弊させないというのもあるわけですから、同時に二次の方もしっかりできるようにする必要が当然あります。

小池委員

一次、二次ともに、きちんと役割を持たないとうまくないと思います。

会長

我々医師会と地方行政でなく、国単位で救急をどうやってくれるのか、ということを議論してもらうのが一番良いと思います。

見附市長

長岡中越こども急患センターは、特に問題無くうまくいきました。

三条市長

問題点等は無かったのですか。

見附市長

長岡市が中心となって取り組みましたが、議論的に大きい問題は無かったです。

副会長

県央地区の状況を考えると、4、5年前までは病院に小児科がありました。病院の小児科がどんどん縮小されています。一次をやる際、二次をいかに確保するかが大事となります。

田崎委員

救急診療所の具体的な考えを出していただきたい。

会長

次回に救急診療所の構想をやることで、よろしくをお願いします。

次に、(4) 検討会の検討課題についてであります。先ほどの検討会規約の承認により、一次救急医療施設の必要性については、ご出席の皆様の合意をいただいたところですが、次に、この検討会の論点となる課題について、審議したいと思います。事務局の説明をお願いします。

事務局 (説明)

会長

それでは、この内容について、ご意見はございますでしょうか。  
(意見等なし)

会長

だいたい運営できる課題項目で、粛々とやっていけるのではないのでしょうか。検討課題の合意形成に向けた取り組みをお願いいたします。  
次に、(5) 検討会スケジュールについて、事務局の説明を求めます。

事務局 (説明)

会長

検討会スケジュール (案) について、ご質問、ご意見等がありましたら、ご発言をお願いします。  
(意見等なし)  
(異議なし)

会長

検討会スケジュールについては了解されました。

次回以降の検討会につきましては、市町村・県振興局は実務担当職員の参加とし、必要に応じ、又、最終結論の段階には、市町村長さんもお出席をお願いし、年内に合意が整いますよう、ご協力をお願いいたします。

事務局

次回の開催日程でございますが、「5月28日、月曜日」の開催とさせていただきますので、委員の皆様、オブザーバーの行政機関の部課長さん方のご出席をよろしくお願いいたします。

会長

次回には素案を出して想いを訴えていきたいと思っております。

今回の検討会の立上げ合意は重要であります。よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。